

大津市長記者会見

令和7年5月20日（火）
11:00～

「AED運搬支援システム」の 運用開始について

「AED運搬支援システム」の運用開始について

■ AED運搬支援システムとは

AED運搬支援システム(通称「AED GO」)は、心肺停止の疑いがある119番通報を受けた際に、救急車が到着する前に付近の救命ボランティアがAEDを持って現場に駆け付けることで救命率の向上を目指したシステム(スマートフォン用アプリ)

■ 運用開始

令和7年7月1日

■ 経過・導入実績等

- ・京都大学とソフトウェア開発会社ドーン(神戸市)が共同開発
- ・日本AED財団と連携して普及促進
- ・平成29年に尾張旭市、平成30年に柏市、令和5年に奈良市に導入
本市は全国で**4番目**の運用開始



「AED運搬支援システム」の運用開始について

■ AED GOの仕組み

① 119番通報と連携した救命ボランティアへの出動要請

心肺停止の疑いがある通報が入ると、指令センターがAED GOを通じて付近の救命ボランティアへ通知

② 発生現場やAED設置場所への最短ルート等のお知らせ

通知には、心肺停止が発生した場所、最寄りのAEDの設置場所、AED設置場所や現場までのルートなどを表示

③ AEDを持った救命ボランティアが現場へ急行

AEDを速やかに現場に届け、救急隊到着まで応急手当を実施

■ 期待される効果

- ① 複数の協力者の確保
- ② 最寄りのAED設置場所の把握
- ③ 現場までの最短ルートの表示により、AEDを持った救命ボランティアが急行

⇒ **救命率の向上が期待**



道の駅「妹子の郷」の

「防災道の駅」

追加選定について

道の駅「妹子の郷」の「防災道の駅」追加選定について

道の駅「妹子の郷」概要

- ・所在地 大津市和邇中528
- ・オープン 平成27年8月 今年で開駅10周年
- ・主な機能 休憩施設、道路情報施設
地場産品販売施設
観光案内等の情報発信機能
- ・観光入込客数 833,000人(令和5年)



道の駅「妹子の郷」の「防災道の駅」追加選定について

概要

国土交通省では、都道府県の地域防災計画等で広域的な防災拠点に位置付けられている「道の駅」について、「防災道の駅」として令和3年に全国で39駅を選定。能登半島地震においても「防災道の駅」が広域防災拠点として大きな役割を果たしたことなどを踏まえ、本市の道の駅「妹子の郷」を含む40駅を追加選定。

追加選定日

令和7年5月14日



防災道の駅とは

災害時に防災拠点としての役割を果たす道の駅。一般の道の駅の機能に加えて、防災機能が強化された施設として整備されており、平常時は休憩や地域の物産・観光情報発信の場として機能し、災害時には広域的な防災拠点として活用。

道の駅「妹子の郷」の「防災道の駅」追加選定について

■期待される効果

- ・広域的な救援活動や復旧、復興活動拠点としての活用による地域全体の防災力向上

発電発電機



貯水タンク



防災倉庫



通信機器

